

令和5年度  
事業報告書

社会福祉法人  
日照養徳園

# 令和5年度日照養徳園事業報告

令和5年度の事業報告を各事業別に報告いたします。

令和5年度においては、コロナウイルスによる行動制限はほぼ緩和され、活動は従前の内容に戻りました。一方コロナウイルスの感染事例は複数回ありましたが軽症にとどまり拡大する事はありませんでした。

## ① 地域小規模児童養護施設の安定化

平成22年5月に開設した地域小規模児童養護施設「ひなた」は令和5年度で14年目を終えた所である。

令和5年度は6名の児童で生活をスタートし、1年間6名での生活が続いた。

年度末の退所児童はいない為、令和6年度もこの6名での生活が継続します。

一方、退所児童へのアフターケアの対象も増えているが、連絡がつかなくなる児童も出てきている。定期的な連絡は切れない様にしたい。

職員体制のフォローは、地域小規模施設に対する「地域分散化加算職員配置」を活用し令和5年度は6名配置体制が実施できたが令和6年度は人材確保できず、5名配置としています。

## ② 施設の小規模化の推進について

分園型小規模グループケアを令和4年度に開設し児童6名、職員6名配置の生活とし、令和5年度も児童6名の生活となりました。2年目も混乱なく生活できました。

日照養徳園の中長期計画「日照養徳園社会的養育推進計画」は令和2年度から①～⑦でスタートした。

①、②は令和4年度に実施

③については令和4年度から子ども食堂と里親サロンを実施した。

④については令和5年度に物件を確保しました。

令和6年度は⑤⑥の準備に入るが、令和7年度に向けての「茨城県社会的養育推進計画」＝【中長期計画】の見直しが予定されている為、その内容も踏まえ見直しが必要となる。

### 【中長期計画】

- ① 令和4年度当初に分園型小規模グループケア施設（定員6名）の開設
- ② これにより本園は定員30名と減員する（本体施設24名＋分園6名）
- ③ 令和4年度中には本体に空きスペースができることにより、多機能化事業を実施
- ④ 令和5年度中に第2分園の物件を確保する。（定員6名）
- ⑤ 令和6年度中に第2分園のリフォーム等で実施準備
- ⑥ 令和7年度には本体施設を30名定員（5グループ各6名定員）へ地域分散  
地域小規模施設も6名定員で実施継続 合計定員36名
- ⑦ 令和11年度には合計定員を30名定員（6グループ各5名定員）へ小規模化

### ③ 施設(設備)整備事業関連

- ㊦ 地域交流スペースのエアコン2台交換  
総事業費 572,000円  
自己資金 572,000円
- ㊧ 2Fそらグループリビング及び職員室のエアコン交換  
総事業費 800,000円  
自己資金 800,000円
- ㊨ 1F居室、2F居室の室内換気扇の経年劣化による交換(20カ所)  
総事業費 220,000円  
自己資金 220,000円
- ㊩ 本体施設の建物管理調査の更新(3年に1回必要)  
総事業費 407,000円  
自己資金 407,000円
- ㊪ 地域小規模施設「ひなた」の屋根の修繕、外壁・ブロック塗り替え  
総事業費 1,668,000円  
自己資金 1,668,000円

### ④ 地域や行事関連

#### 養徳園夏祭り

令和2年度以降コロナ禍において中止となっていました日照養徳園夏祭りは令和5年度は7月22日(土)に実施しました。地域の皆様含約300名の参加がありました。

#### 餅つき大会

夏祭り同様に令和2年度以降中止していましたが令和5年度は12月28日(木)に実施しました。地域の皆様含め約100名の参加がありました。

#### PTA活動について

平成18年度から豊浦小PTA事務局役員(PTA副会長として 大谷恭久)として活動を行い、令和5年度も副会長として参加。

(令和6年度は職員が副会長として参加します)

豊浦中学校のPTA事務局にも職員が1名副会長として参加している。

又、高萩清松高校のPTA事務局監事監査としてもPTA活動に参画しました。

(令和6年度も監事監査予定)

#### 日照養徳園地域支援チーム「ようとく」

平成4年度から地域支援チーム「ようとく」の活動を始め、子ども食堂や里親サロンを実施した。令和5年度は、日立市の子ども食堂実施事業補助を受け、年間12回(月2回)の子ども食堂「ようとくカフェ」を実施。日曜日の昼食を基本として毎回50食の配布を行った。ボランティア団体「YOURNEIGHBOUR」にも支援いただいた。

## ⑤ 人事関連

- 退職者 令和5年8月末に保育士1名が退職しました。  
令和6年3月末に児童指導員3名、調理員1名が退職しました。
- 中途採用者 特にいません
- 新規採用者 令和5年4月の新規採用は0名でした。  
令和6年4月に児童指導員1名、保育士1名を採用しました
- 育児休暇等取得者  
育児休暇取得者はすべて業務に復帰し時短勤務者3名が従事しました。

## ⑥ 処遇関連

### ・不登校児童への対応

令和5年度については登校に関し不安定な児童は複数いたが、遅刻が多い又は登校後の相談室対応で不登校には至っていない。休みがちな状況は残るため、学校との連携を継続していく。

### ・児童間の暴力的上下関係・いじめへの対応

児童間の暴力やいじめ、又児童から職員への暴言や暴力についても、その場で見逃さない対応をとってきた。新規入所による児童の不安定はあるが、職員の対応により大きな混乱には至っていない。又児童間のトラブルは起きることはあるがその都度話し合いを行い継続的トラブルにはなっていない。職員間の連携がずれないように専門職もフォローしている。

### ・性的問題行動やSNSトラブルへの対応

近年の傾向として高校生を中心としてスマートフォンを介在した性に関わる事故やSNS上のトラブルが発生している。

高校生は全員所持しているが夜間は職員に預けることや使用時間、使用場所の制限は継続している。

しかしながら昼間の時間帯(通学時間帯)については使用制限ができない為、日々の行動を注意していきながら、トラブル時に話し合いができるような関係づくりが必要となり、又学校との連携が重要になっている

### ・基本的生活習慣の取得について

朝起きる事～朝食～登校へのパターン及び、帰園後の生活～就寝までの過ごし方についての乱れは無かった。コロナ禍による個食も緩和したため、日々の会話が増えるようになった。見えてきた課題は常に話し合い改善に向け工夫をしている。

### ・職員間のチームワークの問題

各G内での会議や、職員会議・処遇会議・給食会議・グループ長会議、グループリーダー会議にて方針を徹底させたことから、職員間での対応のブレは少なくなったが、個別

に問題を抱える児童についての関りはまだ個人差がある。主任を中心としてアドバイスを実施ながら、見直しを行っていく。

令和5年度も地域分散施設が2カ所となり、本体から見えにくい生活スタイルとなったため、配置された「地域小規模施設等バックアップ職員」を中心に連携を深めた。

又、F S W(ファミリーソーシャルワーカー)担当職員、心理対応職員、職業指導員と各グループとの連携をより充実させ、令和6年度も分散化施設との連携を推進していく。

#### ・外部の人材による処遇向上について

内部職員だけでは、手が廻らない部分について、外部の力を借りてフォローしていくことが必要となっているが、令和5年度からはボランティア学生を積極的に受け入れた。

(1) 教養娯楽の部分(読み聞かせ、習字、音楽、美術、スポーツ等)

(2) 学力向上の部分(学生等の力による、学習塾的な場を設け、取り掛かる)

又、中学生の学習塾や公文テキストの導入等を活用して学力向上に役立てた。

今後は集団学習に適応しにくい児童に対し、個別的指導が可能な人材を確保していくことが必要になる。

又、高校生の進学を支援するために、学習塾(進学予備校)利用を推進していくが、措置費の補助(月額20,000円~25,000円)では不足する部分を施設として年間10万円まで予算化したが、利用した高校生はいなかった。

#### ⑦ 苦情対応について

令和5年度の苦情受付件数は 0件 でした。

ヒヤリハット報告や事故報告は多数ありますが、苦情解決システムに諮る事案はありませんでした。

#### ⑧ 児童手当(旧子ども手当)の実施

令和5年度も中学生までの入所児童には、各児童に子ども手当が支給されました。

(3歳未満は15000円/月、3歳以上は10000円/月)

各児童の預金通帳を作成し、施設が責任をもって管理しています。

高校生のスマートフォン購入時の初期費用等に活用しています。

又、スマートフォン費用以外に必要な個別的費用については状況により児童手当から支出可能としています。

## ⑨ 在籍児童月間推移

令和5年度各月初日在籍児童数（実在籍児童数）

区分	定員	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
本園	24名	男	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96	8.00
		女	14	13	12	12	13	13	15	15	15	15	15	15	167	13.92
		小計	22	21	20	20	21	21	23	23	23	23	23	23	263	21.92
分園	6名	男	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	6.00
ひなた	6名	男	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	3.00
		女	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	3.00
		小計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	6.00
合計	36名	合計	34	33	32	32	33	33	35	35	35	35	35	35	407	33.92

令和5年度新規入所児童数 3名

令和5年度退所児童数 5名(高校3年生1名、措置延長高卒児2名含む)

令和5年度は全体平均 33.92 名の在籍となっているが、地域小規模と本体施設(本園+分園)を分けて定員計算が必要となる。

本体施設 定員30名に対し平均入所者27.92名(=切り上げ28名充足率93%)

地域小規模施設 定員6名に対し平均入所者6名(充足率100%)

となりました。

令和6年度も本体施設定員30名、地域小規模施設定員6名、合計定員36名でスタートします。

## ⑩ 進路関係

高校3年男児・・・進学(東日本国際大学へ進学、川尻町のアパートで自立)

中学3年男児・・・県立多賀高校に進学(日照養徳園から高校進学)

中学3年男児・・・県立高萩高校に進学(日照養徳園から高校進学)

中学3年女児・・・私立明秀学園高校に進学(日照養徳園から高校進学)

中学3年女児・・・県立高萩高校に進学(日照養徳園から高校進学)

中学3年女児・・・県立常陸太田特別支援学校高等部に進学(日照養徳園から高校進学)

※高校1年男児(県立多賀高校)が、2年に進級せずに退学し就職します。

## ⑪ 寄付金・助成金関係

高校を卒業し進学した児童に対しては、国の補助制度「自立支援資金貸付金制度」をあるが、

大学中退の不安がある児童の場合は活用していないが、令和5年度退所し進学した児童1名は活用した。(生活資金月額5万円限度、アパート家賃月額で生活保護の住宅扶助限度)  
又、就職する児童に対しては、運転免許取得資金として25万円の借入制度(2年継続就労にて返済免除)や、アパート家賃支援制度があるが、5年間の継続就労の減免条件がある為、不安がある児童については活用していないが退所後5年までは申請できるため、令和5年度は退所後就職し2年経過した児童が申請した。

## ⑫ 第三者評価の検証

令和4年度(令和5年2月)に第3回第三者評価を実施した為、令和5年度は自己評価となりました。

評価内容も毎年変化があることから、その変化に沿って施設としての考え方も改善していく必要があります。

## ⑬ コロナ対策の実施

令和5年度の日照養徳園においては児童3名が発症しました。(令和6年1月)

行動制限が無くなったこともあり、感染経路は不明でしたが、軽症だった為隔離期間を設けることで集団発生には至りませんでした。

児童が発症した際は、当該グループは隔離状態として、他のグループとの接触を避け、職員も移動せずに当該グループ内のみで勤務シフトを組みました。(特別手当を支給しました)

隔離解除の段階で、施設が保有する検査キットを用いて、陰性を確認し通常生活に戻しました。

以上

## 事 業 報 告

年	月	日	摘 要	
5	4	2	日立さくらまつり(ライオンズクラブ参加)	
		6	中学校入学式 小学校始業式	
		7	小学校・県立高校・特別支援学校 入学式	
		9	子ども食堂開催	
		10	幼稚園入園式	
		11	職員会議	
		12	茨児協従事者部会 給食会議	
		15	小・中授業参観、PTA 総会	
		17	茨児協総務委員会	
		20	処遇会議 県社会福祉法人経営者協議会理事会	
		21	施設長会議 (WEB) 茨児協役員会 (WEB)	
		22	高萩清松高校 PTA 総会、授業参観	
		23	子ども食堂開催	
		26	G 長会議	
		5	1	職員会議
		4		そら行事、あさひ行事、だいち行事
		5		キッチンカー来園、ひなた行事
		6		そら行事、だいち行事
		7		ひなた行事、たいよう行事、あさひ行事
		11		給食会議
		13		中学校体育祭、豊小環境整備作業
		14		子ども食堂開催
		16		茨児協総務委員会
	17		処遇会議	
	19		施設長会議、茨児協役員会	
	19		G 長会議	
	20		小学校運動会、茨児協バレー大会、日立市里親会総会	
	25		県社会福祉法人経営者協議会総会	
	28		子ども食堂開催 里親連合会総会	
	30		G 長会議	
6	1	職員会議		
2		関東ブロック児童養護施設協議正副会長会議、豊中修学旅行		
6		退職手当支給制度運営員会、県審議会児童処遇部会		
7		サッカー招待行事 (天皇杯)		
8		給食会議		
11		子ども食堂開催 茨城県里親連合会総会		
12		県社協理事会 県社会福祉大会運営委員会		
13		処遇会議		
14		茨児協従事者部会 自立支援資金貸付制度運営委員会		



年	月	日	摘 要	
5	6	15	中学校市内総体 県社会福祉互助会理事会	
		17	里親基礎研修	
		20	日立管内里親支援会議 茨児協総務委員会	
		23	施設長部会	
		25	子ども食堂開催	
		26	茨児協里専委員会	
		27	G長会議	
		28	日立特別支援学校授業参観	
		7	1	豊浦小学校創立 150 周年記念式典
			2	里親登録前研修会
			3	茨児協新任職員研修会 県要対協代表者会議 関ア <sup>®</sup> 正副会長会議
			4	職員会議 茨児協総務委員会
			6	関プロ運営委員会
			7	関プロ児童養護施設研究協議会（東京大会）
	9		子ども食堂開催	
	12		給食会議 日立市要対協代表者会議 茨児協 FSW 委員会	
	13		県里親委託等推進委員会	
	14		施設長会議、県・児相との情報交換会、日立管内里親支援会議	
	18		処遇会議	
	19		豊中授業参観	
	20		終業式	
	21		茨児協役員会	
	22		日照養徳園夏祭り	
	24		茨児協里専委員会	
	25		日立児相処遇検討会	
	26	G長会議		
	28	中央児相処遇検討会①		
	31	中央児相処遇検討会② 子ども食堂開催		
	8	2	茨児協野球・ソフトボール大会	
		3	東京ドーム野球招待行事	
		4	職員会議	
5		川尻花火大会		
6		十王祭り(ライオンズクラブ出店手伝い)		
7		県社会福祉大会運営委員会 県審議会児童処遇部会		
9		茨児協従事者部会 土浦児相処遇検討会		
10		茨児協総務委員会		
12		子ども食堂開催		
15		そら行事 ひなた行事		
17		あさひ行事		
18		施設長会議		
20		あさひ行事		
21		ひなた行事 たいよう行事		
23	たいよう行事			

年	月	日	摘 要	
5	8	24	だいち行事	
		26	だいち行事	
	27	子ども食堂開催		
	28	県自民党県政要望懇談会 茨児協里専員会		
	29	G長会議 県社会福祉法人経営者協議会研修会 ひなた行事		
	9	1	職員会議 大井川知事を励ます会	
		5	県社会福祉予算対策委員会 県審議会児童処遇部会	
		7	給食会議	
		9	BIGWAVE イベント招待行事	
		10	BIGWAVE イベント招待行事 子ども食堂開催	
		11	茨児協総務委員会	
		14	里親セミナー 清松高校 PTA 役員会	
		15	施設長部会 茨児協役員会	
		19	ひなたへ視察(臨海学園) 日立管内里親支援会議	
		20	処遇会議	
		22	豊小修学旅行～23日	
		24	子ども食堂開催	
		25	茨児協里専員会	
		26	G長会議 県審議会児童処遇部会	
		30	いしまち認定こども園運動会	
		10	3	職員会議
			6	安全運転管理者講習会 公文本部面談
			8	里親基礎研修
			10	給食会議
			11	茨児協従事者部会 関プロ職員研修会(神奈川大会)～12日
	13		茨児協総務委員会	
	14		消防訓練(総合)	
	15		子ども食堂開催	
	16		里専委員会研修会	
	17		日立管内里親支援会議	
	18		処遇会議	
	19		県審議会里親部会	
	20		県総合企画委員会 施設長部会	
	21		里親杉の子の集い	
	23		茨児協里専委員会	
	24		日立市虐待防止講演会 茨児協従事者会	
	25		G長会議	
	26		関プロ職員野球大会 保育士養成校協議会 県社会福祉大会	
	29		子ども食堂開催	
	11		2	レゾナンススキー
		3	豊中小松ヶ丘祭	
		6	全養協全国大会(神戸大会)～8日 ひなた行事	
9		給食会議		

年	月	日	摘 要	
5	11	10	職員会議 茨児協役員会 いしまち認定こども園親子遠足	
		12	子ども食堂開催 あさひ行事	
		13	県民の日 ひなた行事 だいち行事	
		14	処遇会議 茨児協総務委員会	
		17	県社会福祉法人経営者協議会ブロックセミナー	
		18	たいよう行事	
		19	里親登録前研修会	
		20	県審議会児童処遇部会	
		21	社会的養護を担う施設長研修会～22日 日立管内里親支援会議	
		23	だいち行事	
		24	施設長部会	
		26	子ども食堂開催	
		27	茨児協ボウリング大会 茨児協里専委員会	
		29	G長会議	
		12	1	いしまち認定こども園保育発表会 県総合企画委員会
			2	いしまち認定こども園保育発表会
			3	里親登録前研修会
			6	職員会議 茨児協総務委員会
			8	豊中授業参観 茨児協 FSW 委員会
			9	子ども食堂
			11	給食会議
			12	県社協理事会 里親応援セミナー
			13	茨児協従事者部会 関ブロ正副会長会議
			15	施設長会議、県・児相情報交換会
			16	ひなた行事
			17	子ども食堂開催
			18	処遇会議 茨児協里専委員会
			22	終業式
			23	キッチンカー来園
	25		G長会議 クリスマス会	
	27	関ブロ運営委員会		
	28	餅つき大会		
	6	1	4	たいよう行事
			6	たいよう行事
			9	始業式
10			職員会議	
14			子ども食堂	
15			給食会議	
17			県監査	
18			処遇会議	
19			茨児協年情報交換会	
23			茨児協総務委員会	
24	県審議会児童処遇部会 関ブロ事務運営管理者研修（千葉大会）			

年	月	日	摘 要	
6	1	26	施設長部会 茨児協役員会	
		28	子ども食堂	
		29	園内研修会(星美ホーム視察研修)	
		30	G長会議	
	2	1	職員会議 豊中宿泊学習～2日	
		2	十王中宿泊学習～3日 理事会 評議員選任解任委員会	
		7	茨児協従事者部会	
		8	県少子化委対策審議会	
		9	茨児協総務委員会 縣市議会児童処遇部会	
		11	あさひ行事	
		12	子ども食堂開催	
		13	茨児協カフェ開催 日照養徳園第2分園売買契約締結	
		14	日照養徳園第2分園引き渡し	
		15	給食会議 AED講習会	
		16	施設長部会 豊小授業参観 茨児協合同委員会研修	
		20	全養協中堅職員研修会～21日 県社会福祉審議会	
		21	処遇会議	
		22	日立市監査	
		24	消防訓練(総合)	
		25	子ども食堂開催	
		27	日立市子ども食堂運営団体交流会 G長会議	
		28	県立高校入試 自立支援資金貸付制度運営委員会	
		3	1	職員会議 関プロ正副会長会議
			3	評議委員会 理事会
			5	茨児協総務委員会
			8	退職金支給制度運営委員会 県審議会児童処遇部会
			10	子ども食堂開催
			11	中学校卒業式 関プロ運営委員会
			12	県立高校合格発表 里親会研修会 県社協理事会 茨児協総務
			13	茨児協総務委員会
	14		給食会議	
	15		施設長会議 茨児協役員会	
	18		処遇会議	
	19		小学校卒業式 県社会福祉従事者互助会理事会	
	20		園内研修会(子どもの家視察)	
	22	小中終了式		
	23	子ども食堂開催		
	24	だいち行事		
	25	だいち行事 あさひ行事		
	26	G長会議		
	30	理事会		